

令和7年度公開講座

応用情報学連続ミニゼミナール

ー研究室で学ぶ応用情報学ー

参加無料

3.27(金)

9:00~12:40

ミニゼミナールについて

本講座では、高校生に情報学の面白さを知ってもらうことを目的に、地域産業コース情報分野(令和8年4月から情報学科)の教員が、専門分野の最新の研究成果や最近の話題についてゼミ形式で説明します。授業は各教員の研究室で行います。いくつかのグループに分かれ少人数で行いますので、高校生の皆さん、ぜひ日頃の疑問を講師に直接聞いてみてください。

プログラム

9:00~9:10
グループ分け

少人数で講義を行うため、参加人数に応じてグループ分けを行います。どのグループになってもすべての講義を受講できます。

9:15~12:05
グループごとに研究室訪問

◆ディープラーニングの産業応用 市村 匠 研究室

2024年のノーベル物理学賞に、人工知能(AI)の基盤技術を開発したホップフィールド教授とヒントン教授が選ばれたのは記憶に新しい。人工ニューラルネットワークの概念を確立してディープラーニングを開発した。ディープラーニングに関し、高精度の手法を独自に開発し、地域の産業に応用した研究について論文や特許をもとに紹介する。

12:10~12:40
質疑応答(自由参加)

講座の時間内に聞けなかったことやさらに詳しく聞きたいこと、授業終了後に浮かんだ疑問などがあれば、各研究室を再訪問して講師に直接聞くことができます。自由参加です。

◆ファジィ制御入門 韓 虎剛 研究室

ファジィは曖昧のことを指します。ファジィ理論とは、「ちょうどいい」「なんとなく」「とても」などといった人間の主観的な思考や判断の曖昧さに数学的な枠組みを与えて、定量的に推論・処理するための数学理論です。本講座は、ファジィ理論を制御分野に応用したファジィ制御に関し、その基礎、現状及び将来について紹介します。

◆ゲームプログラミングの進歩 佐々木 宣介 研究室

将棋や囲碁のような思考型ゲームをプレイするコンピュータプログラム(AI)は、AI研究のテーマの一つとして長年研究され、現在では人間の最強プレイヤーを超えるレベルまで強くなりました。将棋や囲碁などのゲームAIがどのような仕組みで動き、どのように強くなってきたのかを解説します。

場所

県立広島大学 広島キャンパス
1321演習室(1棟3階)

(〒734-8558)

広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号)



対象

高校生15名まで
(先着順)

申込締切：3月6日(金)

お申込み
お問合せ

下記のQRコードまたはURLの申込フォームからお申し込みください。

☎082-251-9534

URL:

<https://forms.office.com/r/nAxCLDWxvV>

【主催】県立広島大学 地域創生学部 地域創生学科 地域産業コース 情報分野

